



# のがき 野垣あきことまちづくりカフェ

子ども・くらし・平和

2024年2月号

連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!

## 野垣あきこ地域 新春のつどい

### 赤旗記者が裏金問題を語る！能登被災地報告も

2月11日に野垣あきこ地域の新春のつどいを開催し、60名が参加しました。

#### 自民党の裏金問題に大きな怒り

第1部はしんぶん赤旗政治部の田中智己記者が、自民党の政治資金パーティー収入など裏金問題のスクープに至った経緯などについて語りました。参加者からは「裏金を何に使ったのか？」と真相究明に背を向ける自民党への怒りが寄せられました。

#### 能登半島地震のリアルを語る

田中記者は能登半島地震の被災地を二度にわたり取材しています。津波の被害や志賀原発への不安の声、積雪により家屋被害がさらに進んでいることなど、能登半島の状況をリアルに報告しました。税金は原発や軍事費、万博ではなく、能登半島の被災地復興のために使うべきです。



▲被災地を取材した状況を語る田中記者



私は第2部の冒頭で挨拶し、岸本区政の新年度予算案について報告しました。

原田あきら都議からは小池都政の動きや神宮外苑の運動の広がり等が語られました。7月には都知事選挙があり、市民と野党の共闘で都知事候補を決めていこうという動きも出てきています。

参加者からは地域でのフードバンクの取組、日米地位協定の改定に向けての沖縄県主催のシンポジウムに参加したとの話もありました。地域で活動するぞうれっしや合唱団の有志のみなさんが創作ミュージカル「バック・トゥ・ザ・フーちゃんII」の歌を披露しました。最後にピアノに合わせてみんなで一緒に歌いました。

能登半島地震救援募金は12,000円集まりました。今年も多くの方のご協力で成功した新春のつどいでした。

## 岸本区長 新年度予算を提案

### 新年度も学校給食費の無償化を継続、対象拡大



2月9日から第1回定例会が始まりました。岸本区長は来年度予算案を提案し、今定例会で審議されます。

#### 党区議団の要求が多数反映へ

防災関連では、能登半島地震をふまえ、発災後3日分の食料や避難所の間仕切り、トイレ収便袋、女性特有の必需品など備蓄品をはじめとした費用26億円余が計上されました。

昨年10月から始まった区立学校の学校給食費無償化は継続し、あらたに国立や私立に通う児童生徒にも給食費相当額にあたる給付金を支給することが示されました。保護者や学校現場から長年求められてきた教育相談の体制の拡充やヤングケアラーの支援も重要です。

労働者の処遇改善などの費用が計上されたことも大きな前進です。賃金が上がらないなか、区の事業で働く労働者の賃上げに貢献することが期待されます。

前区政では進まなかった学校トイレの様式化の促進、トイレへの生理用品の設置など、日本共産党区議団が求めてきたことも多数反映されました。

定例会は3月18日まで行われますので、みなさんの傍聴をお願いします。

#### 新年度予算に計上された事業(一部)

■防災・減災への取組強化 26億2,168万円

備蓄品の充実、震災救援所へのポータブル蓄電池の配備、感震ブレーカーの設置促進、建物の耐震化・不燃化、狭あい道路の道路拡幅、突出した電柱の移設

■グリーンインフラによる雨水流出抑制対策の強化 9,516万円

■本庁舎の電力を100%再生可能エネルギーへ 1億623万円

■学校給食費の無償化 23億7,705万円

区立小・中・特別支援学校 無償化継続  
国立・私立等小・中学校 給食費相当額にあたる給付金の支給

■教育相談体制の充実 7,547万円

スクールカウンセラーの拡充、スクールソーシャルワーカーの配置方法の見直し

■ヤングケアラーの支援 1,242万円

LINEを活用した相談の実証実験、高校生世代の実態調査の実施等

■会計年度任用職員給与の見直し 10億4,460万円

報酬額の上限等の見直し、勤勉手当の支給

■公契約条例労働報酬下限額の引き上げ 下限額1,138円→1,231円 8.17%引き上げ

■地域包括支援センター(ケア24)運営事業者への財政支援拡充 1億1,019万円

事業者支援、ケアマネジャー等研修費助成

■学校トイレの洋式便器化の促進 1億5千万円

■生理用品の無料配布の拡充 98万円  
区役所本庁舎、地域区民センター3カ所



## 第29回党大会に参加 新しい委員長に田村智子さん



1月15～18日、熱海市で日本共産党第29回大会が開催され、私は杉並から代議員として参加してきました。

### 全国からの発言で活動の交流

志位委員長が開会を宣言し、中央委員会のあいさつの冒頭で能登半島地震の犠牲者への追悼の意と被災者へのお見舞いを表しました。また、昨年末のASEAN3カ国への訪問や、日本の政治の行き詰まりを打開するために国民的大運動と共産党の躍進をと訴えました。

田村智子副委員長が大会決議案の中央委員会報告を行い、4日間で60名が発言しました。

### 被災地・石川県からの発言

石川県からは輪島の党事務所の1階が潰れ、議員や党員も避難生活の中、避難所で要望を聞き取るなどの地元党組織の奮闘が語られました。全国から寄せられた救援募金に感謝していること、危険な原発はもう廃炉しかないとの発言でした。

### ジェンダー平等を目指して

長崎県のトランスジェンダーの代議員は、投票所でアウティング（本人の同意なく性的思考や性自認を第三者が暴露する

こと）を受けたことを仲間が聞いてくれ、選管に申し入れをしてマニュアルを改善させた経験を発言しました。LGBT当事者が勇気を持って差別を克服していく姿に心を打たれました。

大阪からはゲイを公表して市議選をたたかった話と、一致点を思い出しながら対話を進めようとの発言がありました。

### 生徒に「自衛隊を薦めないで」

青森県の元教員は、親に経済的負担をかけたくない自衛隊に入った教え子から、今の生徒に「自衛隊を薦めないで」と言われたと発言。教え子を戦場に送ると頑張ってきたが、現実になってきたと語り、県議候補になり当選したそうです。

平和の問題では沖縄や鹿児島県の馬毛島など新基地建設の発言もあり、アメリカいいなりの自民党政治が若者や地方に重大な矛盾をもたらしています。

### 人間の自由・未来社会論に希望

コロナ禍や経済不安から資本主義に危機感を感じる若い世代が多く、社会主義への関心が寄せられているという発言もありました。共産党の目指す未来社会は資本主義の矛盾を乗り越える展望を示しているのだと思います。

最終日には中央委員を選出する選挙があり、第一回中央委員会総会が開かれ、委員長には田村智子さん（右写真）が選出されました。



## 共産党議員 後期高齢者医療保険の値上げに反対

1月31日、東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会で、75歳以上高齢者の保険料を現行の年額10万4,842円から6,514円値上げし、11万1,356円とする予算と条例改定が賛成多数で可決されました。日本共産党のくすやま美紀、小林憲一議員（多摩市）は反対しました。

### あらゆる努力で値下げを！

大幅値上げの要因は、岸田政権が後期高齢者に新たな負担増を押しつけたためです。岸田政権は出産育児一時金の拡充の財源の一部を新たに後期高齢者に負担させることや、後期高齢者医療制度の財源となる後期高齢者の負担率を、今年度

11.72%から来期は12.67%に引き上げました。これにより、一部の所得層は来年度に引き下がるものの、再来年度にはその分が大幅に値上げになるなど、全ての後期高齢者が値上げとなります。

くすやま議員は、「都広域連合が保険料抑制のため、剰余金の活用額を増額し、都に財政安定化基金の活用を要請したことは評価するが、物価高騰や年金削減が高齢者の暮らしを直撃しているもとで、大幅値上げは容認できない」と主張。「剰余金の更なる活用とともに、再度、都と協議して財政安定化基金の活用を行うことを含め、あらゆる努力で値上げでなく値下げすべき」と求めました。

### 【あきいの部屋】

共産党には連日のように生活相談が寄せられます。生活保護の申請で福祉事務所に同行することも多いのですが、ためらう人も多いのが現実です。9日の党区議団の山田耕平議員の代表質問に対し、岸本区長は生活保護を申請しやすくするための周知ポスターを作ると発表しました。  
親族に扶養の可否を問い合わせる「扶養照会」は前区政時代にマスコミでも報道された問題に。多くの区民が疑問の声をあげていたこともあり、杉並区は昨年、この扶養照会について、当事者の意思に反して行うことをやめました。今年度の照会率は約29%まで下がっています。  
しかし、区長一人では民主主義は実現できず、区職員や議会、そして何よりも住民参加が大事になっています。

### 能登半島地震救援募金

にご協力をお願いします。

郵便振替 口座番号

00170-9-140321

加入者名 日本共産党災害募金係

- ・通信欄に「能登募金」と書いて下さい。
- ・お預かりした募金は党中央委員会を通じ、全額を被災地支援に充てています。

### しんぶん赤旗 配達員募集中

上荻・天沼地域でしんぶん赤旗を配達していただける方を募集しています。野垣かお近くの黨員までお声かけください。

■自転車の場合で30分程度

□週1日～でもOK！

■年齢や性別は問いません。

□最初は丁寧にレクチャーします！